

出穂期が最も早くなる 予想！極早生・早生品種 の穂肥遅れずに！！

令和8年6月18日
長岡農業普及指導センター

稲作情報 No.5

電話 0258-38-2557

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

【コシヒカリ調査ほの生育状況（6月18日現在、管内24か所・田植日平均5月11日）】

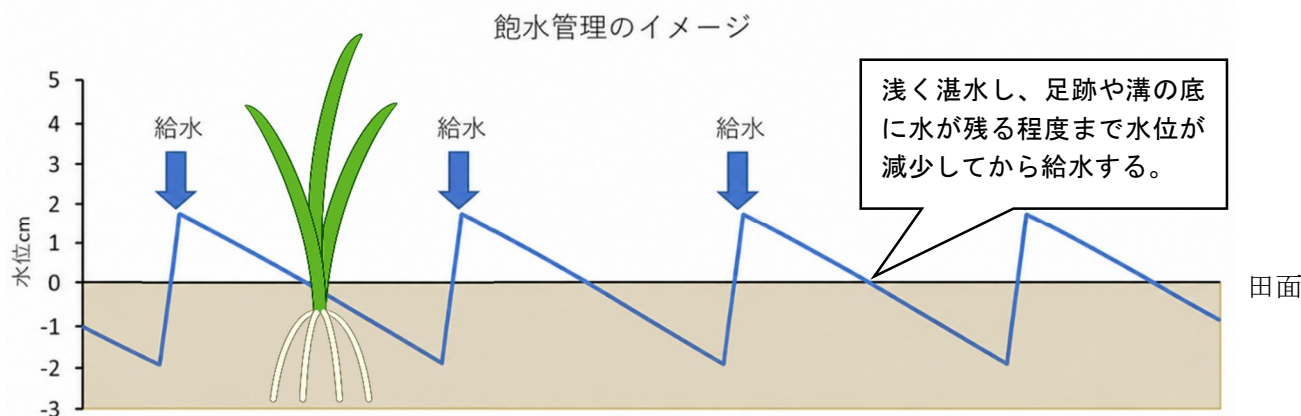
草丈：	39 cm	（指標値比 111 % = 長い）
茎数：	479 本/m ²	（指標値比 139 % = 多い）
葉数：	8.9 葉	（指標値差 1.0 葉 = 早い）
葉色：	38.7	（指標値差 -0.4 = 並）

○茎数過剰のほ場は出穂の1か月前まで中干しを継続し、過剰生育を防ぎましょう。
※ほ場により茎数の差が大きいのので必ず茎数を確認してください。

1 今後の水管理

(1) 中干し終了後は、うわ根の発生促進や根の健全化及び地耐力の維持のため、徐々に飽水管理※に移行しましょう。また、確実に幼穂を確認し、適期に穂肥が施用できるよう、表1（次のページ）を参考に早めに準備しましょう。

※理想的な飽水管理（模式図）



2 出穂期予想と穂肥時期のめやす

- (1) 極早生・早生品種の出穂期は、平年より4日程度早い予想です。
1か月予報（6/18 新潟地方気象台発表）によると、6月20日からの向こう1か月は気温が高い確率が30%と予想されておりますが、天候次第で更に出穂期が早まる可能性もあるので、穂肥施用が遅れないように注意しましょう。
- (2) 幼穂形成期や出穂期はほ場間差があり、今後の天候によっても前後します。
各ほ場で幼穂確認を行って出穂期を予想し、穂肥の適期を判断しましょう。
- (3) 今後の気象状況や葉色の推移によっては、分施肥体系では3回目の穂肥、全量基肥体系では追肥が必要になる可能性がありますので、準備しておきましょう。

表1 幼穂形成期及び出穂期の予想と穂肥時期のめやす

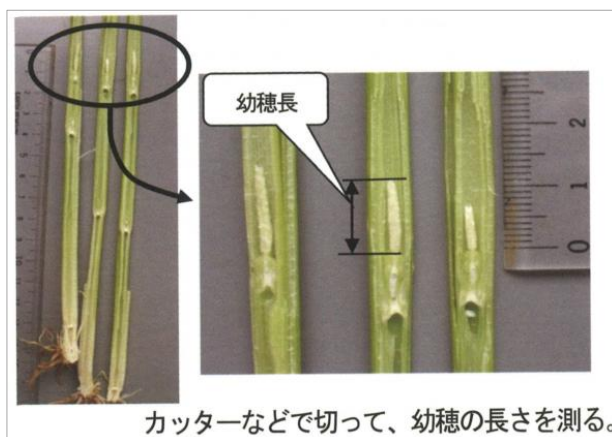
(長岡・平場地域) 6月18日現在

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥時期のめやす (月/日) ()内は出穂前日数			
			1回目		2回目	
なつひめ	6月20日	7月13日	6/20	(23)	6/30	(13)
ゆきん子舞	6月25日	7月18日	6/23～6/25	(25～23)	7/4	(14)
こしいぶき	6月26日	7月19日	6/26	(23)	7/5	(14)
コシヒカリ	7月8日	7月31日	7/13～7/16	(18～15)	7/21	(10)
ゆきみらい	6月20日	7月13日	6/20	(23)	6/30	(13)
わたぼうし	6月23日	7月16日	6/24～6/26	(22～20)	7/4～7/6	(12～10)
こがねもち	7月2日	7月25日	7/7～7/10	(18～15)	7/15	(10)
五百万石	6月22日	7月15日	6/25	(20)	7/3	(12)
たかね錦	6月26日	7月19日	6/29～7/1	(20～18)	7/5～7/9	(14～10)

(注) コシヒカリの出穂期予想(経営普及課)を基にした予想値である。
 早生品種は5月1～5日稚苗移植を、中生品種は5月10～15日稚苗移植を想定して予想した。

ア 幼穂の長さの測り方

- ① 平均的な生育の稲を3株程度選ぶ。
- ② 1株の中で長い方から2～3本の茎を選び、株元から茎を引き抜き、図のように幼穂長を確認する。



イ 幼穂長から出穂前日数を予測する

出穂前日数	幼穂長(cm)
23日	0.1
20日	0.2
18日	0.5～1.0
12日	4.0～6.0

3 早生品種の穂肥のポイント

(1) 分施(基肥+穂肥)の場合

幼穂形成期(幼穂長0.1cmの時期)を確認し、各品種の適期に施用しましょう。

表2 穂肥施用量のめやす(合計施用量を2回に分けて施用する)

品種名	合計施用量(N kg/10a)	留意点
なつひめ	3～4	1回目2kg/10a、2回目1～2kg/10a がめやす。
ゆきん子舞	6	1回目3～4kg/10a、2回目2～3kg/10a がめやす。
こしいぶき	2	砂壤土など地力の低いほ場では、1kg/10a程度多めに施用する。
ゆきみらい	5	1回目3kg/10a、2回目2kg/10aがめやす。
わたぼうし	2～3	極端な多肥にならないように注意する。
五百万石	1～2	1回目に重点を置く。

- 必ず、たん水してから施用する。大豆あと等では生育に応じて減肥する。
- 特に、ゆきん子舞やゆきみらいでは、1回目の穂肥を幼穂形成期に、遅れることなく施用することが多収のポイントです。

(2) 全量基肥肥料の場合

出穂期の葉色低下が予想される場合は、後期栄養確保のため追肥する。

4 病虫害対策

(1) 斑点米カメムシ類

農道・畦畔のイネ科雑草は、出穂するとカメムシ類の増殖地となります。出穂しないよう約3週間間隔で草刈りしましょう。必要に応じて後期除草剤を使用し、水田内の除草も徹底しましょう。

(水田内の雑草もカメムシの発生源になるため、斑点米の原因となります。)

(2) いもち病

いもち病の多発生地^{*}やいもち病に弱い品種、多肥栽培のほ場では、特に早期発見に努め病斑を見つけ次第防除しましょう。

いまだに補植苗が確認されます。補植苗は、いもち病の伝染源となるため、ただちに除去しましょう。

※いもち病の多発生地＝コシヒカリ BL 普及以前に葉いもち防除で予防粒剤を用いていた地域。

(3) 農薬の使用時期の注意

出穂期が早まっているため、**農薬散布前に使用時期(出穂前日数、収穫前日数)を必ず確認**してください。

暑い時期になります。農作業中の熱中症に注意しましょう。農作業事故に注意しましょう。

定点調査ほ場生育調査結果(令和8年6月18日現在)

品種	地域名	移植日	草丈		莖数		葉数		葉色		
			本年	指標比	本年	指標比	本年	指標差	本年	指標差	
			(cm)		(本/㎡)		(葉)		(SPAD)		
コシヒカリ	長岡東	一発	5/6	34	90%	377	96%	9.0	0.6	38.1	-3.9
	長岡西	分施	5/4	44	116%	405	103%	8.9	0.5	39.2	-2.8
	越路	一発	5/7	37	98%	404	103%	8.6	0.2	38.3	-3.7
	中部	分施	5/6	41	108%	381	97%	9.0	0.6	42.3	0.3
	北部	分施	5/3	33	87%	385	98%	8.6	0.2	38.1	-3.9
	中之島	分施	5/5	48	127%	516	132%	10.4	2.0	44.9	2.9
	見附	一発	5/3	42	111%	549	140%	9.8	1.4	42.4	0.4
	平均		5/4	40	105%	431	110%	9.2	0.8	40.5	-1.5
コシヒカリ	長岡東	分施	5/10	43	126%	572	170%	9.7	1.5	38.9	0.3
	長岡東	分施	5/10	43	126%	476	145%	8.2	0.3	37.0	-1.7
	長岡東	一発	5/11	44	129%	529	161%	8.7	0.8	39.1	0.4
	長岡西	一発	5/10	38	112%	470	143%	8.9	1.0	39.4	0.7
	長岡西	分施	5/16	35	103%	236	72%	8.6	0.7	37.4	-1.3
	栃尾	分施	5/16	32	89%	424	156%	8.7	1.2	36.7	-1.1
	栃尾	分施	5/12	39	109%	476	175%	9.0	1.5	35.7	-2.1
	越路	一発	5/9	42	118%	878	240%	9.0	1.0	39.3	0.5
	越路	分施	5/18	39	110%	506	138%	8.6	0.6	39.5	0.7
	越路	一発	5/11	40	112%	440	120%	9.2	1.2	39.4	0.6
	中部	一発	5/5	42	118%	441	120%	9.5	1.5	38.1	-0.7
	中部	分施	5/11	40	112%	453	124%	9.5	1.5	39.1	0.3
	北部	一発	5/5	39	110%	393	107%	8.5	0.5	38.3	-0.5
	北部	分施	5/13	39	110%	570	156%	9.3	1.3	39.5	0.7
	北部	一発	5/5	45	126%	528	144%	9.0	1.0	39.7	0.9
	中之島	一発	5/6	46	129%	655	179%	10.7	2.8	40.2	-0.4
	中之島	分施	5/7	43	121%	623	170%	9.2	1.3	41.5	0.9
	見附	一発	5/18	30	84%	253	69%	8.4	0.5	37.8	-2.8
	小国	一発	5/13	40	112%	446	136%	9.8	2.0	39.1	-0.1
	小国	一発	5/11	33	93%	321	98%	8.4	0.6	37.3	-1.9
	小国	一発	5/23	35	98%	435	133%	6.5	-1.3	37.4	-1.8
	小千谷	一発	5/15	39	110%	389	110%	9.6	1.8	42.8	3.2
	小千谷	一発	5/9	38	107%	530	150%	8.9	1.1	37.2	-2.4
	川口	一発	5/16	35	98%	443	125%	8.7	0.9	39.0	-0.6
	平均		5/11	39	111%	479	139%	8.9	1.0	38.7	-0.4
	平場 平均※		5/10	41	117%	501	146%	9.1	1.2	39.0	-0.1
中山間 平均※		5/14	36	103%	433	126%	8.7	0.8	38.2	-0.9	
5/10までの移植		5/7	42	120%	557	162%	9.2	1.3	39.0	-0.1	
5/11～5/20の移植		5/13	37	107%	422	123%	9.0	1.1	38.6	-0.5	

※長岡東、長岡西、越路、中部、北部、中之島、見附地域を平場、栃尾、小国、小千谷、川口地域を中山間地に分類。